

目標達成計画

作成日：平成 30年 5月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症の在る利用者個々の身体・精神状態の理解、それに対する必要な介護量の把握ができていない。	身体・精神状態等を理解し、ADL・QOL・残存能力をアセスメントする事で適切な介護を考察する。	各職員が各利用者に対して自立支援の目標設定を行い、年に2～3回の評価及び必要に応じて目標変更を行い、1年を通じて各職員が自分の出来る自立支援の援助を継続する。	12ヶ月
2		職員の利用者個々に対する個別ケアの把握。	職員一人ひとりが個々の利用者に対し目標を立てケアを行う。	職員同士の意見効果、勉強会で御利用者の個々にあった目標について話し合い検討する。	12ヶ月
3		職員の知識及び技術が個々に差がありサービスの低下が考えられる。	知識及び技術の向上を図る。	介護技術の評価を個別に行い、できている人は向上できる様にチームで話し合いする。できていない人は個別指導を強化する。また、個々に合った知識および技術の向上の勉強資料等を作成する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。